



12月には学生からの心のこもった手書きのメッセージカードを添えます!



取材協力

一般社団法人
スマイルキッズ代表
ふくしま
福島 めぐみさん

食品と一緒に エールも届ける

ひとり親家庭や血縁関係の無い家族(ス
トップファミリー)の相談や応援を13年
ほど続けてきたスマイルキッズの福島さ
ん。昨年6月からはこども宅食『とどけ
YELL』の活動も始めました。毎月、
経済的に厳しい家庭へ食品などを届けて
います。福島さんご自身が各家庭を訪問
し、おしゃべりしながら要望を聞くこと
も。今年、学校が臨時休校になった時期に、
子どもが家にいる時間が長くなったこと
で家のティッシュやトイレットペーパーが不足
しているという声を聞いた福島さんは、食品だ
けでなく日用品も届けました。

「私自身、子どもの頃からさまざまな経験をしてき
ました。だからこそ各家庭
の気持ちも分かりますし『当
事者同士で話ができるから
よかった』という声を聞く
と嬉しいです。また県内だ
けではなく、全国から支援
をいただき、たくさんの方の笑
顔につながっていることに
感謝しています」と福島さ
ん。本当に助けが必要な家
庭に、食品だけでなくエー
ルも届けます。

佐賀女子短期大学の
学生と仕分け作業。
配布する家庭状況に応じて
一つひとつ丁寧に仕分けを行います



私たちのように学校の校区単位で
もできますので、同じような
活動をしたという方は、ぜ
ひご相談ください」と大坪
さん。学校やさまざまな支
援団体の協力を得ながら、
成長期の子どものおなかと
心を満たしています。



地域の有志が
集まって食材を
仕分けます



取材協力

北川副小学校運営協議会
こどもおなか一杯便事業部
委員長
おおつぼ ひろき
大坪 裕樹さん



地域で 子どもたちを 支える

北川副小学校の校区単位で2018年に始まった
『おなか一杯便』の活動。2カ月に1度、就学援助を
受けている家庭に、地元のスーパーで購入した、子
どもでも簡単に調理できるレトルト食品などを届け
ています。以前、昼休みに毎日パンをひとつだけ買っ
て食べていた生徒の姿を見たことが、大坪さんが活
動を始めるきっかけとなりました。

「支援を受けていることを知られたくないという家
庭も多く、配送は業者に依頼しています。直接顔を
合わせることはありませんが、メールなどで『ダン
ボールに何が入っているか、いつも開けるのが親
も子も楽しみです』といった声が届くと、私
たちもやりがいを感じます。こども宅食は

私たちのように学校の校区単位で



2019年に、東京で
こども宅食サミットを開催し
こども宅食の必要性を
全国に伝えました



現在は全国に広がっていること
も宅食の活動ですが、佐賀県は
8団体と最も多く、全国のモデ
ル地域になることが期待されて
います。すべての子どもたちが
「佐賀で暮らせてよかった」と思
えるふるさとを、み
んなでつくってい
きましょう。

今年度、新たに
「こども宅食」に
挑戦する5団体も
支援していきます



こども宅食応援団
こまきひろき
駒崎 弘樹代表理事

やまぐち
山口 知事

佐賀未来創造基金
やまだ けんいちろう
山田 健一郎理事長

子どものおなかと こころも満たす

経済的に厳しい家庭に、定期的に食品な
どを届ける「こども宅食」の活動。
2017年に東京の文京区で始まっ
た活動が佐賀県でも広
がっています。

特集

まずは子どもたちの 現状を知ることから



東京で始まった「こども宅食」。佐賀県のCSO誘
致で立ち上がったこども宅食応援団は、佐賀市に拠
点を置き、『とどけYELL』『おなか一杯便』の活
動にノウハウや支援物資の提供などの伴走支援を
行っています。「学校が臨時休校になった時期は、私
たちもお菓子を配りながら、ひとり親家庭のお子さ
んの見守り支援を行いました。世界的に見ると経済
的に裕福な日本ですが、7人に1人の子どもが貧困
に苦しんでいます。まずはそのような現状を、みな
さんに知ってほしいです。苦しい家庭が『助けて』
と声をあげやすく、その声をみんなで自然に
助け合う社会をつくりたいですね」と話
す事務局スタッフの井内さん。



取材協力

こども宅食応援団
事務局スタッフ
いづみ なこ
井内 美奈子さん

こども宅食に関するお問い合わせ

一般社団法人こども宅食応援団
☎070(2333)1375

こども宅食応援団は
ふるさと納税を
活用して応援できます。



詳しくはこちら